

琉球リースだより

新風

[mi-kaji]
みーかじ

第6号

新年のご挨拶

株式会社琉球リース

代表取締役 比嘉朝松

謹

んで新年のお慶びを
申し上げます。

旧年中は、格別なご高
配を賜り、厚くお礼申し
上げます。

本誌「琉球リースだよ
り」新風(みーかじ)は、
お客様と弊社を繋ぐ
コミュニケーションツ
ールとして平成20年に創刊
し、リース業務に関する
内容を中心に親しみやす
さを心掛け、おかげさま
です。回目の新年を迎える
事ができました。これも
ひとえに皆様方の暖かい
ご支持・ご支援によるもの
と感謝申し上げます。

県内景気は依然として
厳しい状況下にあります

が、私どもでは「お客様
が求める価値の提供」を
経営課題に掲げ、全役職
員が一丸となって取り組
んでいるところです。

具体的には、お客様の
真のニーズをお伺いし、
適切なご提案ができるよ
うに、一人ひとりがお客
様の立場で考え、行動す
るように取り組んで参り
ます。

何卒、本年も倍旧のお
引き立てを賜りますよう
お願い申し上げます。

末尾となりましたが、
貴社の益々のご発展と社
員の皆様のご健勝を祈念
申し上げます、新年の挨拶と
させていただきます。



左から、 常務取締役 古城 正彦 取締役副社長 西銘 信治郎 代表取締役社長 比嘉 朝松 常務取締役 比嘉 朝旬 常勤監査役 嶋 純一

リース いろいろなところで 第6回

食の安全の見張り役 “異物検査装置”



金属検出機



X線異物検出装置

リースの対象物件といえば、小さなものはOA機器・パソコンから、大きなものは船舶・航空機に至るまで、広い分野にわたって、お客様のニーズに応じています。そこで、このコーナーでは、当社が選定したリース物件にスポットを当てて紹介します。

近年、産地偽装、消費期限の書替え、基準値以上の農薬残留、期限切れ食品の再利用など、食の安全を脅かすニュースを頻繁に耳にするようになりました。

そこで今回取り上げるのは、食の安全の一翼を担う「異物検査装置」です。

この機械は、食品の製造過程において異物が紛れ込んでいないかをチェックするもので、県内で数百台が稼働しているそうです。

こちらの工場では主に惣菜を作っていますが、その製造過程において、二種類の機器を使って異物混入を防いでいます。

食の安全に対する意識の高まりとともに、消費者の目は厳しくなっています。一方で、食の低価格化により、食材のグローバル化、商品の大量生産、生産工程のオートメーション化がますます進み、異物混入が起きやすい状況が続いています。

このような中、私たちに安全な食を提供するために、日々努力を続けている関係者の皆様に感謝です。

うちなーびけん

「唐の世」から「大和の世」、「アメリカ世」からまた「大和の世」と移り変わった沖縄。

そんな歴史の中で生まれ、愛されてきた「オキナワならではのモノ」を紹介するコーナーです。

うちなーの定番 A1ソース



ス テーキといえばA1ソース、沖縄では切っても切り離せない存在だ。例えて言うとな、野球のピッチャーとキャッチャー、漫画のボケとツッコミ、ムーチャーとサンニンの葉のような関係だ。

今回は、沖縄の調味料界で不動の地位を確立したA1ソースにスポットを当ててみよう。

沖縄の復興時代と共に歩んできたA1ソース

ステーキハウスが多い沖縄、店内のテーブルには必ずと言ってよいほど、A1ソースが鎮座している。沖縄ではごくフツウの光景であるが、初めて見る人にとっては「あなたはダレ？」と言いたくなる存在だ。

そもそもこのソース、沖縄におけるステーキの歴史そのもの



言っても過言ではない。本土復帰前に米軍がステーキと共に持ち込み、県民の味として定着した。あめりかーなソースである。

ところが、このソース、実はアメリカモノではないことをご存知だろうか。瓶の裏側を見ると分るが、何とイギリス製だ。

何でも、19世紀前半にイギリス国王の料理人が秘伝の味を考案したのが始まりらしい。大英帝国の由緒ある歴史の味がアメリカ経由で沖縄に、何とロマン溢れる話ではないか。

酸っぱさに賛否両論?

A1ソースの味は、フルーティ、スパイシー、少々強い酸味、濃厚といった感じだろうか。

この中で最大の特徴は、あの独特の酸っぱさだ。この酸っぱさについて、巷の声は「この味がたまらないんだよな」「この味、ちょっと苦手」と評価が分かれる。



どちらかと言うと、年齢が高い人ほど好きという割合が多いようだ（実際に調査をしたわけではないので、責任は持てないが...）。多分、昔から食べ慣れてい

るかどうか、好き嫌いの分かれ目だろう。現在ではいろいろなソースが市販されており、どちらかと言うと甘味の味が好まれているようだが、この中であって、A1ソースは孤軍奮闘、大人の味(?)を守り続けている。

A1ソース、永遠なれ!

このように多くの県民を魅了してきたA1ソースであるが、本土では知る人は少なく、マイナーな存在である（何と、本土ではあの大手食品メーカー「カゴメ」が販売しているらしい。ちょっと驚き!）。

沖縄の食文化の一角を占めるA1ソース、この伝統の味(?)をいつまでも守り続けていきたいものである。

「えつ、こんな意味で使っているの？」という言葉が存在します。このコーナーでは、出張で

沖繩には、県人同士では何気なく使っている言葉でも、他県の人から見ると「どういう意味？」
 「えつ、こんな意味で使っているの？」という言葉が存在します。このコーナーでは、出張で
 沖繩をよく訪れるビジネススマン二人にご登場願ひ、沖繩の言葉について語ってもらいます。



A 「またまた呼び出しを受けました。今回はもう
 ネタがありませんとお断りしたんですけど、ど
 んなネタでもいいですから、今回までは頑張り
 ましょう」と懇願されました。

B 「私も同様に無理ですと返答したら、このコー
 ナーを楽しみにしている人がっかりさせる気
 ですか」と引き受けないのがまるで血も涙もな
 い人のような扱いです(笑)。

A 「そうですね。少々不安ですが、さつさと済ま
 せて、美味しいものを食べにいきましょう。では、
 早速何か気になる言葉はありませんか？」

B 「私は、沖繩の特産物が大好きでよく販売所
 に立ち寄るのですが、商品を買ったときに店
 のおばさんが、おまけに**これもらうねえ**?と
 か、**あなたにくれようね**と言うんです。本来は、
 もらう、くれるは受け取る側からの言葉で、与
 える側からはあげますになるのですが…。でも、
 とてもありがたく頂戴します。」

A 「きつと、沖繩では相手側の観点に立った優し
 さがそうさせるのでしょう(笑)。続けて、私は
 マニアックなネタを紹介します。時々、取引先

の事情で商品交換の依頼を受ける場合があるの
 ですが、多くの人が商品を**交替**して下さいとい
 う言い方をします。本来、**交替**は人とか場所に
 使われるものですが、沖繩では商品の場合も
交替となります(笑)。

A 「ところで、初めて聞いたときに戸惑ったイン
 パクトある言葉はありませんか？」

B 「あります、あります。**意味よ**という言い方
 です。相手が何か筋が通らない話をしたときに
 発する言葉です。大阪の言葉なら、何言うてん
 ねん、に近い突っ込みでしょうか(笑)。」

A 「そうそう、これに似ているもので、**話しよ**
 と言う人もいます。」

B 「いずれにしても、初めて聞いた人はまず理解
 不能な言葉です(笑)。」

A 「私もびっくりした言葉があります。**いんちき**
 です。以前スーパで目撃したのですが、お母
 さんが子供二人にお菓子を買ったようで、様子
 を伺うとどうも弟の方が高いものだったらし
 く、お兄ちゃんの方がお母さんに、**いんちき**、

いんちきと絶叫していました。**いんちき**って、
 本来は不正、いかさま、にせもの、ごまかしとい
 った意味ですよ。その時は、お母さんに何てひ
 どいことを言う子供だと思いました。後で沖繩
 の人に聞いてみると、**不公平だよ**という意味
 だそうです。しかも、この言葉を使っているの
 は学生・子供だそうです(笑)。」

B 「へっ、学生・子供専用ですか。では、反対に
 大人専用の言葉として、**なんでかね**がありま
 す。何かうまくいかなかったときなどに、あれえ
 おかしいな、どうしたもんかねえ、という感じ
 でしょうか。」

A 「実は、私はこの言葉に泣かされたことがあります。
 前に取引先から大切な約束を反故にされ、
 私は意を決して何かを言おうとしたところ、社
 長の口からこの言葉が出ました。すると周りの
 空気は緊張感のないものに変し、責任の所在
 はどこへやら、私も戦意喪失の状態です(笑)。」
 B 「すごい、なんとというか対立を生まないマジカル
 な言葉ですね。今度、会社でも使おうと！」
 A 「**意味よ**。」

パッパッと分かる

リースの話

このコーナーでは、リースに関するホットな話題、お役立ち情報などを出来るだけ簡潔にお伝えします。

第6回

パソコンのデータ消去

早来主任 「社長、こんにちは。ご無沙汰しております。」

須場社長 「おお、もう来たか、早いなあ。」

早来主任 「はい。社長のお呼びなので、琉球ゴールデンキングス

ばりの速攻で来ました(注①)。」

須場社長 「そうか。俺も若いときには、やんばるに須場あり、

と多少は名が知られていたんだぞ。」

早来主任 「えっ、社長がバスケットですか・・・(今の体形からは想

像もつかない)。では、ご用件にも速攻でお応えしま

うよ。」

須場社長 「そうだ、今日はパソコンの件なんだ。3月にリースが

終了するのだが、入れ替えるので古いほうは引き取っ

てもらえるのか確認したかったんだ。」

早来主任 「分かりました、社長。こちらで引き取りは可能

(注②)ですが、保存されているデータは御社のほ

うで消去していただく事になっています。」

須場社長 「そうか、データ消去か。どんなデータが入っているか

分かんが、簡単に消せるだろう。」

早来主任 「その前に社長、会社で使うパソコンには重要なデータ

が沢山入っているはずですよ。営業部門は顧客情報や
自社の販売に関するデータ、総務部門では経理や資金
繰りのデータのほか決算データも保存されているかも
しれません。万一、データが残ったまま勝手に渡って
しまうと大変なことになるかねません。」

須場社長 「そうだな。みんなパソコンを使って仕事をしている

が、それぞれの中身がどうなっているかさっぱり分か

らんからなあ。」

早来主任 「そうなんです。いつか使うはずと、なかなか削除しな

いのでデータは溜まる一方なんですよね。」

須場社長 「でも、俺は不要になったデータファイルは「ごみ箱」

に移した後、「ごみ箱を空にする」という操作まで

行って削除しているぞ。」

早来主任 「さすが、社長。ちゃんとパソコンを使いこなしている

んですね。でも社長、専門的なことはよくわかりませ

んが、その操作だけではデータは完全には消えていま

せんよ。」

須場社長 「ええっ、そうなの?」

早来主任 「はい。何でも、データを削除しても、ハードディスク

にはしっかりデータが残っているそうです。実際、コ

ンピュータ業者をお願いして、誤って削除してしまっ



アカバナー商事
すば
須場社長



琉球リース
そうき
早来主任

注①

琉球リースは、県内初のプロバスケットボールチーム、琉球ゴールデンキングスを応援しています。

注②

原則として、リース会社の指定場所に、お客様ご自身で返還することになっていきます。

たデータを「復活」してもらい助かったという話もよく聞きますからね。」

須場社長 「そうなんだ、よく分かった。でも、パソコンを処分する時にはこちらでデータを削除するとして、それでも残っているのならどうすればいいんだ？」

早来主任 「はい、当社が提携している業者に引き取ってもらうのが安全です。事前に引取日時を調整しますので、それまでにデータ削除と付属品一式(注③)を準備してもらえば大丈夫ですよ。」

須場社長 「その業者が確実にデータを消してくれるんだな。」

早来主任 「そうです。特別なソフトを使って、復活できないように処理されます(注④)。もし、パソコンが立ち上がりなとか、壊れている場合には、データを保存している部品を取り出して破壊するなどして処理は万全です。」

須場社長 「なるほど、安心だな。」

早来主任 「しかし社長、この件はリースしたパソコンだけに言えるものではなく、会社で購入したものについても注意が必要です。特にそれを社員に譲る場合が問題です。リースの場合は返還してもらうので問題はないのですが……。」

須場社長 「問題とはなんだ？社員が自宅で個人用に使うのだから、特に問題はないと思うのだが……。」

早来主任 「自宅で使っている分にはいいんです。使わなくなると知人に譲ったり、粗大ゴミに出したり(注⑤)すると大

変です。実際に、東京秋葉原のショップには、そのような問題のあるパソコンが結構流れてくるようです。」

須場社長 「そっか、そういうことなのか。そこまでは考えなかった。そっとする話だなあ。」

早来主任 「そうでしょ、社長。琉球リースでリースしたパソコンなら、引取後にちゃんと提携業者が処理するので安心してください。」

須場社長 「そっか、では3月に満了するパソコンは引き取ってもらおうか。」

早来主任 「はい、了解しました。先ほどの提携業者をお伺いさせていただきます。ところで社長、新しいパソコンもリースでお願いますよ。」

須場社長 「ああ、わかった。しかし最近、オレの頭は自動消去機能がセットされているので、憶えているかどうか……。わっはっは。」



注③ デイスプレィや電源コードの他、ソフトウェアのCDやマニュアル類を含みます。

注④ 米国防総省のセキュリティガイドラインに準拠した方式により、一般的には2時間かかります。

注⑤ パソコンは、資源有効利用促進法により、メーカーによる回収とリサイクルが義務付けられており、平成十五年十月からは家庭用でも粗大ゴミとして回収されなくなっています。

※本コーナーは、わかりやすさを第一に誌面を構成しているため、厳密には正確でない記述が含まれている場合があります。ご了承ください。

琉球の年のかぞえ方

二〇一一年が明けた。今年は平成二三年である。現在われわれは西暦とともに元号(年号)と呼ばれる日本独自の年の単位を採用している。もともとこの元号は中国から発祥したものであり、皇帝や王などの君主が即位したり、また治世の途中で不吉な出来事があったり、干支の甲子かっしの年などに改元したりするが、日本では明治時代から一世一元(君主一代につき一つの元号)である。

この元号、それでは琉球ではどのようなものを使っていたのだろうか。琉球独自のものがあつたのだろうか？

実は琉球王国は全時代にわたって、中国王朝の元号を用い

ていた。たとえば「洪武こうぶ」とか「永楽えいらく」、「万曆ばんれき」などである。これは琉球が中国を中心とした東アジアの国際体制(朝貢体制)に参加していたからで、中国を親、琉球を子や孫にたとえるような上下関係を築いていた。

この関係は実質的な支配をともなうものではなく、極端にい



正殿 2階御差床。中国皇帝直筆の書が掛かる

えば中国に定期的に挨拶に来て、国内で中国の文化・風俗を採り入れていれさえすれば、中国王朝はその国の内政に干渉してくるようなことはなかった。その中国風の文化を採り入れる一つが、中国の元号を使うことである。

当時の中国では、「支配者というのは空間とともに、時間も掌握していなければならない」という考えがあり、中国の定めた元号とカレンダーを使うことが中国の国際体制に参加する条件にもなっていたのだ。なので、東アジアの各国で中国の元号を使うことは普通に行なわれていたことである。たとえば朝鮮王朝は基本的に中国の元号を国内

で使用している。日本は長く中国の国際体制に参加せず、独自路線を歩んでいたので自らの元号を持っていたが、これは少数派である。つまりアジアの視点からいえば日本のほうが珍しく、琉球のほうがスタンダードであったといえよう。

ところが琉球の国内で日本の年号を使おうとした時期がある。それが一七世紀後半、今から三五〇年ほど前のことだが、この時期、中国では政權交代があり、明王朝から清王朝に変わった時であった。当初、琉球はそれまでの明王朝の元号を使っていたが、一六四四年に明は滅んでしまった。ところが琉

球は以降もしばらく明朝の亡命政權の元号を使い続ける。そして亡命政權が滅んでしまうと、今後は日本の年号を使おうとするのである。

中国の新王朝の清は漢民族ではなく異民族の満洲族である。親の国であるはずの明を滅ぼした清に対し、琉球は当初反発していたのである。ところが親の国はすでにない。

そこで代わりに日本の年号を使おうとしたと考えられる。当時の国際情勢に揺れ動く琉球の姿が、元号から見えてくるのである。

やがて中国での情勢が清の勝利にほぼ決まると、琉球は清に

朝貢を開始し、清朝の元号を使うようになる。琉球にとっては中国との貿易関係をいかに維持していくかが一番大事なことで、そのための冷徹な判断であった。

明治に入ると琉球王国は解体され、沖縄県が設置される。中国清朝の元号から日本の元号を使う時代になったのである。ところが興味深いことに、琉球の家系記録（家譜）には、日本の時代になっても「明治」を使わず、まだ清朝の元号「光緒」を使っている記事がいくつもあ

る。
元号一つで当時の人たちの気持ちが見えてくるようである。

古琉球時代の元号一覧

洪武 (1368~1398)
建文 (1399~1402)
永楽 (1403~1424)
洪熙 (1425)
宣德 (1426~1435)
正統 (1436~1449)
景泰 (1450~1456)

天順 (1457~1464)
成化 (1465~1487)
弘治 (1488~1505)
正徳 (1506~1521)
嘉靖 (1522~1566)
隆慶 (1567~1572)
万曆 (1573~1619)

うちなーんちゅのための「本土ビジネス客おもてなし講座」パート①

近年、本土企業との取引が活発になるに連れ、沖縄に出張で来られる方が増えています。そこで、このコーナーでは、相手方が「沖縄初心者」の場合どうもてなしたらよいか、「沖縄流もてなし」をシリーズでご紹介します。さあ、取引先との良好な関係を築くため、守礼の心で、レッツ「めんそーれ」！

「お酒編」

「かんぱ〜い、お疲れさま〜」

片手にはもちろん「オリオンビール」、条例にはないがこれは暗黙のルールである。たとえ相手がだれであろうと「オリオンビール」、これで歓迎するのが沖縄の流儀なのである。

でも、これって当たり前じゃないか！と思うかもしれない。ところが、本土ではビールの銘柄選びに結構気を遣うらしい。

というのも、企業系列というものがあからからで、例えば三菱系の場合、系列企業のみなならず、そこそ取引している企業もKビール、住友系ならAビールといったような具合だ。このため、



ホテルや料亭などでは、事前にどのブランドのビールを出したらよいか確認をとるらしい。

（沖縄に生まれて良かった、乾杯！）

また、そのときコースターとして使用するのは、もちろんキレイに折りたたんだ「おしほり」だ。相手におしほりをコースターとして使用する理由を尋ねられたら、真顔で「沖縄のおしほりは働き者なので、コースターの役目も負わされている。」と答えよう（明確な理由がないので、苦し紛れの言い訳である）。

ビールの後は泡盛だ。

泡盛は種類が豊富にあり、この時ばかりは自分の好みではなく、当然相手が飲みやすい銘柄を選ぼう（癖のある、ヘビーなものを勧めた結果、泡盛嫌いにさせたら、沖縄酒造組合からパチみかされる）。

このときに、まず話すのは泡盛の種類のことである。さりげなく、泡盛のメニュー表を見せながら、地域ごとに銘柄があることを披露しなければならぬ。その際に、泡盛の会社名や商標名にある「北谷」「金武」「今帰仁」を何と読

むか、質問してみよう。予想だにしない読み方に、相手は「:。」となるだろう（これを機に、沖縄の難読地名・人名で盛り上がるのもよい）。

次に、昔は泡盛の匂いがきつかったことを話のネタにしよう。でも、こ

れはあまり驚かないようだ（焼酎も同様の歴史を辿ってきたからだ）。そのときは、昔は泡盛ではなく、「シヨ二黒」「オールドパー」「シーバース・リーガル」などの高級洋酒を飲んでいたことを話題にしよう。銘柄を聞いて、きつと驚くだろう。

最後は、度数の話だ。一般的には30度から40度位の泡盛が多いこと、与那国島の「どなん」は60度もあり火がつくというネタで締めよう。後はなんくるないさ、楽しく飲みましょう！



*本コーナーは筆者の経験、伝聞などをまとめたものであり、有効性を保証するものではありません。



当社の 中小企業診断士

琉球リースには、な〜んと中小企業診断士が2人います！
日々の忙しい業務をこなしながら、診断士を目指した動機
などについて2人に聞いてみました。

新規先の開拓も重要ですが、既存取引先との関係強化、取引拡大を図ることで業績の安定化を図ることが可能です。

(う〜ん、どこかで聞いたぞ!)

営業第二部
係長 恒吉 一雄



中小企業は皆多くの課題を抱えているので、企業の“課題解決人”になれたらいいなあと思い診断士になりました。

(自分の課題`結婚、はどうするの?)

Q 診断士になって気付く事は?

県内の企業は、技術はあるけどマーケティングが弱くて苦労している企業が多いので、そこをもっと追求すればよい結果に繋がるのではないのでしょうか。小さなヒントやアイデアも大事です。

(そこのところをもっと具体的に…)

Q 診断士を目指した動機は何ですか?

沖縄経済を支えているのは中小企業です。その成長をお手伝いしたいと思い、診断士を目指しました。

(自分も早く会社を支えるようになってくれー)

今は売り上げの増加が難しい時代だから、コスト面にもっと目を向けて取組む事で利益の確保に繋がるはずですよ。

(まずは二人の残業削減にも取組んでくれ)

中小企業診断士とは?

中小企業診断士とは、中小企業の経営課題に対応するための診断・助言（経営コンサルティング）を行う専門家であり、『中小企業支援法』に基づき、経済産業大臣によって登録された国家資格者を指します。
《社団法人 中小企業診断協会 沖縄県支部 ホームページより》

営業第一部
係長 城間 正史



お答えします！ リースについて

Q 琉球リースのリース車の数が、県内で走行するタクシー台数より多いと聞きましたが、本当でしょうか？

A 本当です。
平成 22 年 3 月 31 日を基準に比較すると、タクシーより約 1,700 台多く、実に約 1.3 倍の台数規模となります。

県内タクシー台数



(沖縄総合事務局統計資料より)

琉球リースのリース車台数



(割賦販売台数分を除く)

とはいっても、この数字を見て「えっ、そんなにあるの？ でも、リース車が走っているのを全然見かけませんが…」という方が中にはいらっしゃるかもしれません。

大変残念ですが、通常リース車を見分けることはできません。

なぜなら、リース車はナンバープレートも通常の車と変わりがなく、また車体に特別なマークを付けることもないからです。

皆様にご実感していただくことはできませんが、今日の県内トップクラスの実績は、県内初のリース会社として、長年オートリースを手掛けてきた「皆様のご支持」そのものと考えています。

企業の経営効率化ニーズがある限り、これからも琉球リースは「ビジネスの足」をバックアップしてまいります。

琉球リースは、新車・中古車、軽自動車から大型車まで、車種・仕様を問わず、企業の自動車導入に“最適”をご提案します。